



葉は長楕円形で鋸歯はない。



よく分枝する。

区別のポイント

山地の日陰に生える。幹は株立ちや枝分かれする。葉には油点があり側脈は見えない。

形態 常緑低木。高さ1～1.5m。

分布 本州（関東以西）・四国・九州

名前の由来 枝葉がシキミに似て、奥山に生育することから。

葉 **〈全体〉**倒卵状長楕円形で長さ6～13cm。革質で表面には光沢がある。裏面には油点が見える。

〈付き方〉互生で枝先にまとまって付く。

〈葉柄〉短い。少し赤い。 **〈基部〉**くさび形。

〈葉先〉鈍頭。

〈縁〉全縁。

備考 有毒：スキミアニン、スキミン（アルカロイド）

出典 1